

新聞読んだ 考えた

2024年5月19日付18面「交通事故 怖さ実感
スタントマンが実演 青森・荒川中、むつ・田名
部中」 青森市の荒川中学校と、むつ市の田名部
中学校で4月、交通安全教室が開催された。映画
やドラマで活躍するスタントマンが講師となり、
交通事故の様子を生徒たちの前で演じ、生徒たち
は事故の恐ろしさを実感した。

八戸学院光星高3年 おおさか ゆづき
大坂 悠月さん



交通事故の怖さ知って

最近、交通死亡事故の二
ユースをよく見かける。自
分も一度だけ、自転車に乗
っている際に、突然バック
してきた車がぶつかり倒れ
たことがある。すり傷だけ
で済んだが、打ち所が悪か
ったらどうなっていたら

うと思う。
高校に入ってから自転車
車の乗り方や交通安全の講
話はあるが、動画を見たり
話を聞くだけで、事故の怖
さがあまり伝わらないと感
じる。そんな中、青森市の荒
川中学校やむつ市の田名部

年齢が上がるにつれて、通学
などで自転車に乗る機会が
増える一方、慣れてきて事
故への意識が低くなるた
め、中学や高校は必ずやっ
たほうがよいだろう。
自転車に乗る時はヘルメ
ット着用が全年齢で努力義

中学校では、スタントマン
がさまざまな事故の状況を
実演し、生徒たちは交通事
故の怖さを間近で感じた。
このような形の交通安全
教室は、全国の小中高校で
やってほしいと思った。年

務化されているが、着用し
ていない人が多い。交通安
全教室で怖さを実感すれ
ば、ヘルメットの必要性も
感じるだろう。少し意識を
変えるだけで死亡事故はな
くせると思った。